2024年2月19日
第153号
NRU
国労九州

〒812-0013　福岡市
博多駅東3丁目9番
3号ニューハイツ1003
092-483-1515
発　責　千々岩隆
編　責　永滝　彰

九州本部拡大委員会開催

2月6日博多TKP会議室において九州本部拡大委員会を開催しました。前段に労働講座を開催し北陸地本太田書記長から「ローカル線問題について」学習しました。中央本部から岩元書記長が参加し情勢報告を行いました。

委員長挨拶

九州本部　　千々岩委員長

九州本部拡大委員会に結集された組合員の皆さん大変お疲れ様です。何点かについて発言し挨拶とします。

最初に、私達の最大の課題である組織拡大について、昨年は3名の拡大は出来ましたが、組合員の減少に歯止めがかかっていません。レクリエーションやHPの活用、入社式行動等は行っていますが厳しい状況にあります。5年ビジョンの集大成でもありますので、組合員皆で取り組みを強化しましょう。そして、1月後半から取り組まれている労働条件改善要求署名行動が身に結べばと考えています。

中央の新たな取り組みとして、TUNAGUアプリの登録の手順についてやり方について説明がありました。このアプリは攻め型の取り組みとなります。従来のHPのような受け身型ではありません。このアプリを活用して運動の強化をお願いします。

二、24春闘について

今年4月から人事・賃金制度が改正され2～3万円の基本給が上るようになりますが、昨年の春闘で、賃金制度改正で先行として3000円がベアとして回答しました。しかし、退職金にも加算されませんし、これが本当にベア回答と言えるでしょうか。今春闘では制度は制度として受け入れベアはこれまで勝ちとれなかった分や物価上昇等を加味して170000円の要求と夏季手当についても昨年の通期予想は上振れになると予想から3．2ヵ月と物価上昇分として全社員に10万円の支給を求めています。皆さんからの意見を受けて決定したいと考えます。

三、安全・安定輸送について

今年のダイヤ改正から香椎線において自動運転（GOA2.5）が運用開始となります。又、鹿児島本線でも久留米駅～赤間駅間で自動列車支援装置（GOA2.0）の試験走行が始まります。JR九州はこれからの労働人口減少や人口減少を見越して鉄道ネットワークを維持していくためとしています。昨年10月に鹿児島本線広木駅構内において、4両ワンマン運転の列車がGPSの位置情報に不具合が生じ、最後部1両がホームにかからない状態でドアを開けて女子高校生が転落するという鉄道人身傷害事故が発生しました。会社は交渉で支援装置であり、保安装置ではないと回答しています。最後は乗務員や係員の確認であります不具合が生じて問題が起きたら誰に責任を負わせるのでしょうか。これで安全に運行できるかは疑問に思います。

地活化法の一部が改正され自然災害等で被災した肥薩線は現在も不通ではありますが、地活化法の改正により上下分離方式に移行する復興方針案をまとめるに至っています。しかし、今後の人口減少や労働人口減少を考えるとそうやすやすとは判断できないので、地元自治体と一緒に考えたいとしています。そして地方ローカル線においてはBRT促進の傾向が大きくなっています。また、指宿枕崎線においても昨年11月30日「地域公共交通のあり方」について話し合う任意協議会が申し込まれています。このほかにも2019年に筑肥線（伊万里～唐津）吉都線、日南線（油津～志布志）も候補に挙がっています。国労九州本部としてもどう取り組んでいくか踏ん張りどころと思っています。

最後に政治についてです。岸田政権は周辺国の影響により安全上問題であることを第一に掲げ軍事大国を強引に推し進めています。また、原発問題も廃炉ではなくこれまた推進を行っています。沖縄の問題については何度も民意が示されたにも拘らず、出来レースの裁判を重ね、代執行を行い強行的な工事着工となる県民無視の暴挙を続けています。その自民党は政治資金パーティをめぐる裏金問題により、自民党に政治による不信はかってなく高まっています。こうした暴走政治に歯止めをかける為、来るべき総選挙では政治を変えるように奮闘しましょう。